

OECD の SHA 手法に基づく医療費推計及び国際比較に関する研究

【概要版】

1. 目的

毎年、厚生労働省統計情報部から公表される「国民医療費」は、わが国の医療保険制度のもとでの支出を推計したものであり、医療政策における成果をはかる重要な指標の一つであるとともに、医療経済上、中長期の政策目標設定においても重要である。ただし、国民医療費の計上の範囲には、若干の限定がある。正常分娩や歯科自由診療、療養環境など医療保険の対象外の項目、予防や健康管理、医療システムの運営に関わる費用、医療機関の運営および施設整備のための費用が除外されており、そのため、保健医療支出の範囲が諸外国とも異なるために、国際比較を行う場合に問題になることが指摘されてきた。国際比較に際しては、医療支出の細項目レベルでの定義を明確にした上での比較可能性を検討する必要もある。

2000 年より OECD は国民保健計算 (National Health Account ; NHA) の国際基準として、A System of Health Accounts (SHA) を発表し、加盟各国への参加を呼びかけてきた。以降、2001 年の OECD Health Data より、この新基準に沿った推計を行うことが求められている。医療経済研究機構では、平成 12 年度厚生労働科学研究費特別事業により、SHA に準拠した日本の総保健医療支出の推計方法を開発し、その手法を用いて 1998 年度の総保健医療支出の推計を行った。続く平成 13 年度及び 14 年度の 2 カ年にわたる厚生労働科学研究費統計情報高度利用総合研究事業において継続的な研究を行ってきた。

本報告書はこれらの研究をもとに 2005 年度の NHA を推計したものである。

2. 結果

(1) 2005 年度総保健医療支出の概況

[総保健医療支出 (Total expenditure on health ; THE)] は、図表 1 に示すように、約 40 兆 9501 億円であった。

このうち [経常保健医療支出 (Total current expenditure on health)] が約 40 兆 0109 億円 (対 THE 比 97.7%)、[医療設備への投資 (Total investment on medical facilities)] が約 9392 億円 (2.3%) であった。

[経常保健医療支出] のうち、[集団的保健医療支出 (Expenditure on collective health care)] は約 1 兆 7241 億円 (対 THE 比 4.2%) であった。これは [予防—公衆衛生 (Prevention and public health)] 約 7743 億円 (1.9%) と [保健管理と保険への支出 (Expenditure on health administration and insurance)] 9499 億円 (2.3%) からなる。

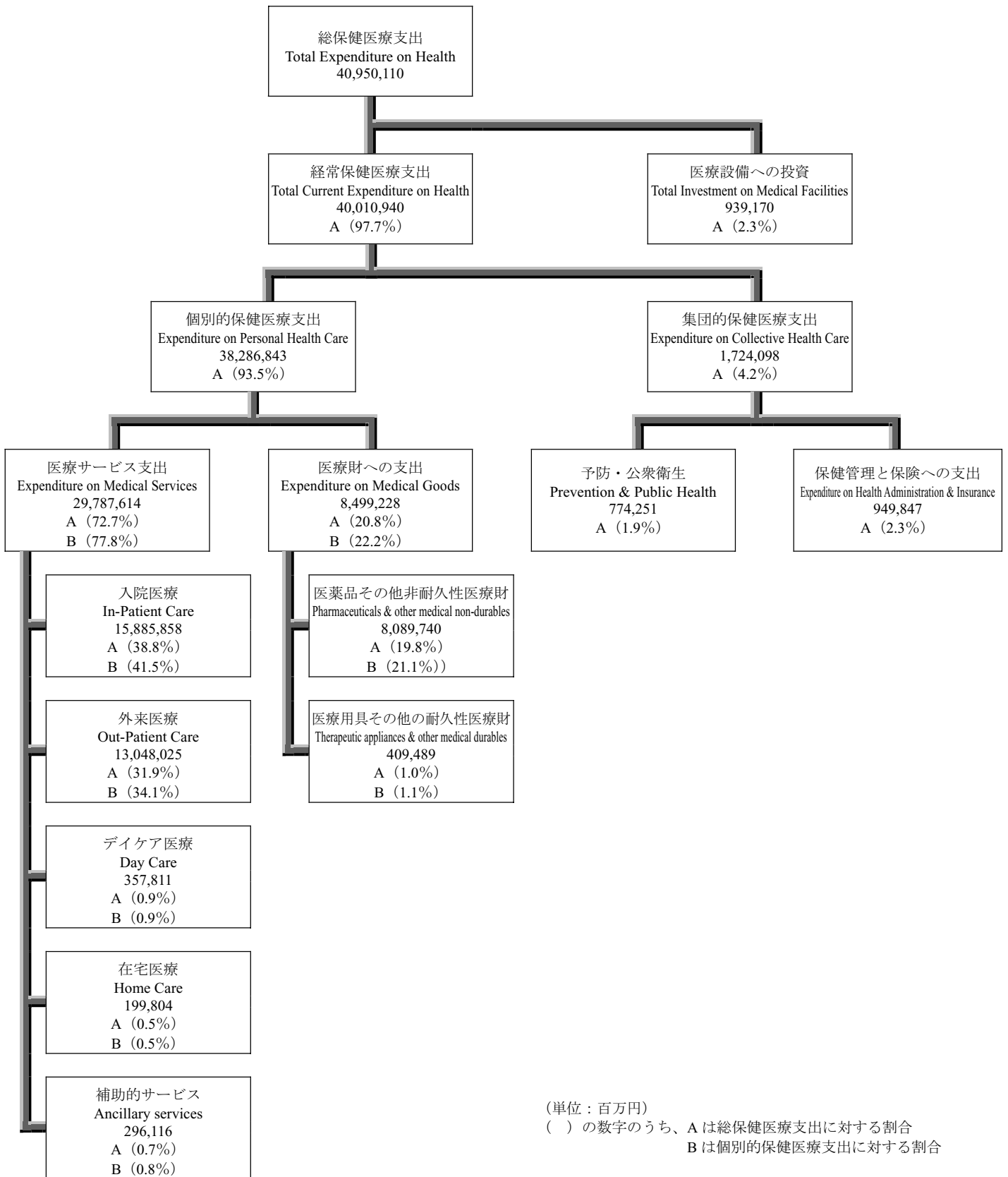
[経常保健医療支出] のうち、[個別的保健医療支出 (Expenditure on personal health care)] は約 38 兆 2868 億円 (対 THE 比 93.5%) であった。これは [医療サービス支出 (Expenditure on

medical services)] 約 29 兆 7877 億円 (72.7%) と「医療財への支出 (*Medical goods dispensed to out-patients*)」 約 8 兆 4992 億円 (20.8%) からなる。

さらに、[医療サービス支出] の内訳をみると、[入院医療費 (*Expenditure on in-patient care*)] 15 兆 8859 億円 (対 THE 比 38.8%)、「外来医療費 (*Expenditure on out-patient care*)」 約 13 兆 0480 億円 (31.9%)、[デイケア医療費 (*Expenditure on day care*)] 3578 億円 (0.9%)、[在宅医療費 (*Expenditure on home care*)] 約 1998 億円 (0.5%)、[補助的サービス (*Expenditure on ancillary services*)] 約 2961 億円 (0.7%) であった。

また、[医療財への支出] の内訳は、[医薬品その他非耐久性医療財 (*Pharmaceuticals and other medical non-durables*)] 約 8 兆 0897 億円 (対 THE 比 19.8%) と「医療用具その他の耐久性医療財 (*Therapeutic appliances and other medical durables*)」 約 4095 億円 (1.0%) であった。

図表 1 保健医療支出の構造と推計値（2005 年度）

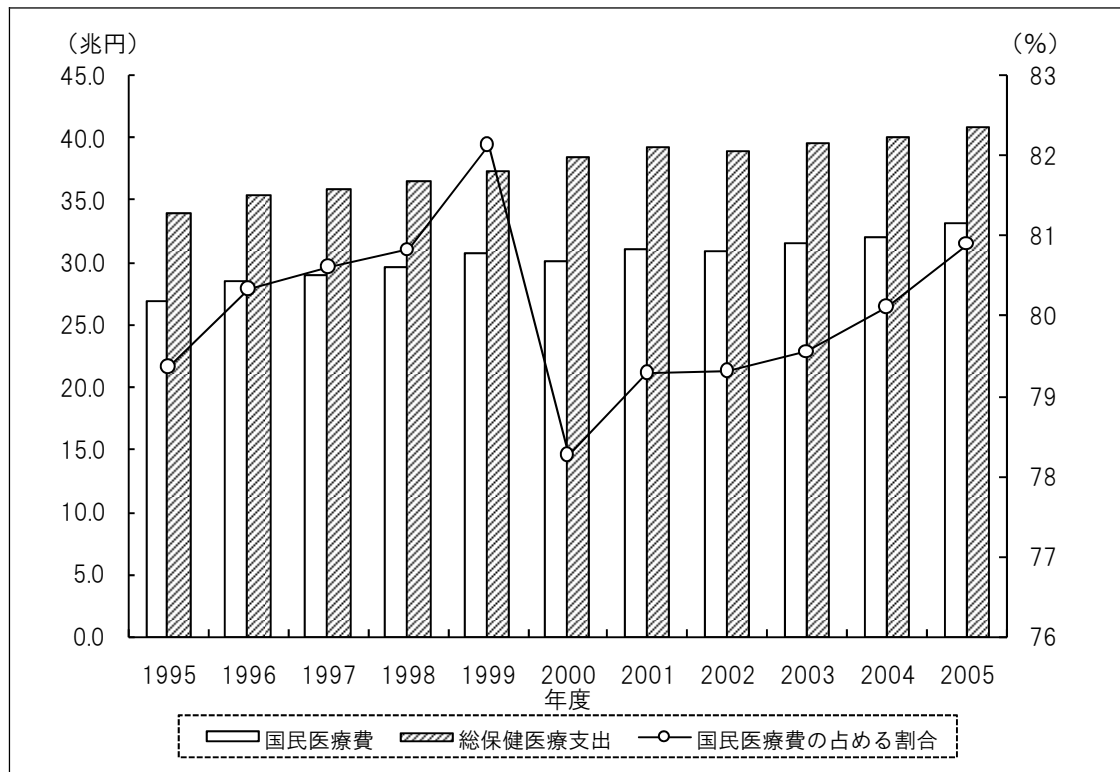


(2) 1995—2005 年度の推移

図表 2 は国民医療費と総保健医療支出の 1995 年度から 2005 年度までの過去 11 年の推移である。国民医療費は 1995 年度に約 27.0 兆円だったものが、1999 年度には約 30.7 兆円までに増加したが、2000 年度には介護保険制度へ一部の医療系サービスが移行した影響もあり、約 30.1 兆円に減少した。しかし、2001 年度には再び増加に転じ約 31.1 兆円となり、2003 年度は約 31.5 兆円、2004 年度は約 32.1 兆円、2005 年度は約 33.1 兆円であった。

総保健医療支出は 1995 年度に約 34.0 兆円だったものが、2005 年度には約 41 兆円に増加した。総保健医療支出に占める国民医療費の割合は、図表 2 に折線グラフで示すように、2000 年度は国民医療費の減少の影響を受けて 78.3% に低下したものの、2005 年度は 80.9% に上昇した。

図表 2 国民医療費と総保健医療支出の推移



年度	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
国民医療費	26,958	28,454	28,915	29,582	30,702	30,142	31,100	30,951	31,538	32,100	33,129
総保健医療支出	33,966	35,417	35,870	36,598	37,377	38,512	39,225	39,022	39,643	40,070	40,950

単位：10 億円